

地域新電力事業について

企画政策課

1 目的

琴浦町、北栄町、湯梨浜町の電気料金として地域外に流出している年間約 50 億円の一部を地域内に留めることで「地域経済の活性化」、地域の再生可能エネルギーによる発電を利用する「脱炭素化」の同時実現を目指す。

その手段として、鳥取県中部地域をエリアとした地域新電力会社を官民連携のもと民間主導で設立する。

行政は、生活に欠かせないライフラインである電力を扱うビジネスが単に民間企業の営利だけを目的にしたものでなく、地域経済の活性化及び脱炭素化が図られ、公共(公益)性の高い事業となるようチェックし、地域の発展につなげるため、地域新電力会社への出資を行う。

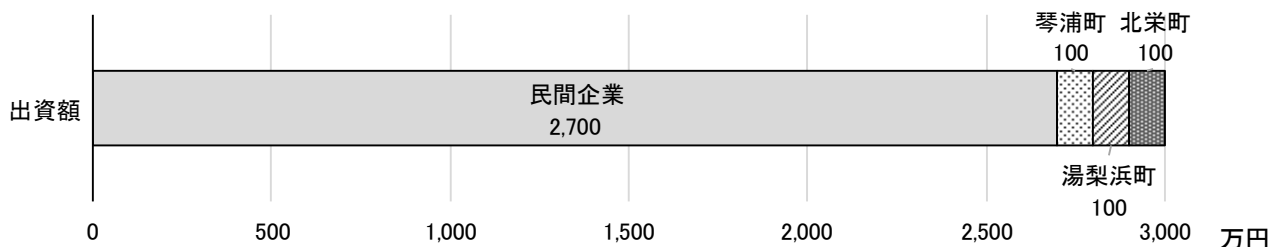
2 資本金の事業者提案

資本金	1000万円		2000万円		3000万円		3000万円	
	出資額	出資比率	出資額	出資比率	出資額	出資比率	出資額	出資比率
行政	340万円	34.0%	680万円	34.0%	1020万円	34.0%	340万円	11.3%
	33.4%(1/3)を超える ・株主総会の特別議決を単独で否決できる (自己株式の取得に関する事項の決定、募集株式の募集事項の決定、事業譲渡など)						33.4%(1/3)を超えない ・株主総会の特別議決を単独で否決できない	
地元企業	660万円	66.0%	1320万円	66.0%	1980万円	66.0%	2660万円	88.7%
	66.7%(2/3)を超えない ・株主総会の特別議決を単独では可決できない ・株主総会の普通議決(取締役の選任・解任)を単独で可決できる						66.7%(2/3)を超える ・株主総会の特別議決を単独で可決できる	

※協議により 資本金 3,000 万円で会社設立準備へ

行政としての出資は 10%とし、株主として発言権を確保。民間によるスピード感や柔軟性を生かすとともに、別途設置する協議会組織で事業へのチェック体制を機能させる。

3 出資金イメージ(予定)



※民間企業の出資予定 : (株)エナテクス、(株)馬野建設、(有)川口設備工業、(株)エナテクスサービス、ローカルエナジー(株) ほか

4 今後の動き

候補事業者は、12 月中に県の補助金申請手続きを実施。年明けから会社設立準備を開始する。
(3 町とは協議を継続しながら、民間事業者として設立準備に入る。)

5 協議の状況

10 月 26 日	中核事業者候補者選定プロポーザル
11 月 2 日	中核事業者候補者による企画提案 3 町議員説明会 第 1 回中核事業者と 3 町協議
11 月 9 日	中核事業者候補者による琴浦町議会への企画提案説明
11 月 10 日	第 2 回中核事業者と 3 町協議
11 月 19 日	第 3 回中核事業者と 3 町協議
11 月 30 日	第 4 回中核事業者と 3 町協議

6 中核事業者と 3 町合意事項

資本金	3,000 万円(安定経営のため)
仕入調達リスク	経営開始から 3 年間、ローカルエナジーのバランシンググループに加盟(仕入電力高騰リスク軽減のため)
民間需要の確保	1 年目から出資企業の電気契約を新会社に切り替え 2 年目は 250kW 契約増加 3 年目から 1,000kW/年 契約増加
民間契約割引	一般家庭の電気契約について、大手電力会社の 5 %割引を予定
地域貢献	雇用の確保
	防災力強化(避難所への太陽光、蓄電池等の設置)
	新産業創出(省エネ診断、BEMS、PPA 事業など)
	環境教育(人材育成、学校出前講座、視察受入れ)
その他	協議会(仮称)による監視機能